

---

# 「アレ」な二人

りき

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

「アレ」な二人

### 【NZコード】

N7044C

### 【作者名】

りき

### 【あらすじ】

ケンカするほどなんとやら・・・いつものよつと言ひ口を始めた二人ですが・・・？

(前書き)

このお話は会話文だけで続いていきます。とても軽いお話ですので、あまり期待せず、気軽に読んでみてください。

「ねえ、アレ取つて

「ああ？『アレ』って何だよ」

「……つたく、鈍いんだから。このタイミングで『アレ』って言つたら、どう考へても綿棒でしょ？」

「知るかよ！ どんなタイミングなら綿棒なんだよ、あほか。つていうか、お前、何？ 何その態度のでかさ。あのねえ。いくら俺達が幼馴染で、家族ぐるみの付き合こともあるし、どっちの家の鍵も持つてて、好き勝手に家に行き来できる仲であつてもだよ。人んちに勝手に上がつて来て、偉そうにするのはそりやお前、お門違いだつて事は覚えておけ、このバカが」

「バカだ〜？ あのねえ。いい歳した成人男性が、せつかくの休みだつて言つのに家で漫画ばっかり読んでるから、暇だつたらどうか連れてつてあげてつておばさんに言われたから、忙しい中、時間を作つて、嫌々来てあげてるんでしょう？ それをバカ呼ばわりされたら、世界中のボランティア団体をバカにしたのと同じ位の侮辱行為だわよ！」

「嫌々だあ？ 来てあげただあ？ 僕はお前に来てくれなんて頼んだ覚えもないしな、お前だつて暇だつたから来たんだろうが。それにな、聞くがな、だつたら、なんでお前はここで俺と一緒にになつて漫画読んでるんだよ。どつか連れて行くつていつ使命を持つてここに来たんじやね〜のかよ、あ？」

「しうがないじやない。アンタがあんまりにも面白そうな顔して読んでるだもん、こつちだつて気になるわよ。文句があるなら、アンタのその面白い顔をどうにかしてからにしてくれない？」

「ギャグ漫画読んで笑つちゃいけね〜つてか？ お前も、口が減らないなああ〜？ どうしたらそんなに次から次へと憎まれ口が叩けるんだよ。え？ 何級だ？ お前は憎まれ検定、一体何級なんだ

？」

「よく言つわ！ アンタだつて、こんなうら若わい女を前にして、  
よくも平氣で鼻ほじつたり、屁こいたりできるわよねえ？ 何位よ  
！ 世界マナー違反選手権第何位よ！」

「なんだよ、その世界なんとか選手権つてよおおー。何年に一度開  
催されてんだよ！ 今年はアテネか！？」

「ちょっとうるさい！ 今いいとこなんだから、話かけないでよ！  
つていうか、いにから早く綿棒取つてよ、この『万年彼女いない  
暦＝年齢男』が！」

「そういうお前こそ、女は結婚するまで、ヴァーチン守るつて言つて  
りや偉いと思つてるかもしれないけどな、捨てたくても相手がいな  
いだけだつて事はばれてますから、残念でした！ ほら、これで耳  
だけじゃなくて、穴と言つ穴をせいぜい綺麗にしどけ、蜘蛛の巣女  
が！」

「黙つて綿棒取ることも出来ないなんて、使えない男ね！」

「五十センチ歩くことも面倒になつてしまつた老婆に、使えないな  
んていわれたくね〜けどなー！」

「……」

「……」

「……」

「……」

「……おー」

「……何、今いじとこだつて言つてるでしょ」

「……なああ」

「……何よ」

「アレしねえ？」

「……『アレ』って？ 『アレ』だけじゃわかんないんだけど？」

「お前つてさ〜、さつき自分が言つた事を棚にあげて、よくそういう  
こと言えるよな？ 今このタイミングで『アレ』つて言つたら一  
つだらうがよ」

「……えええ、面倒くさいなあ。何？ W.i.e? W.i.eは嫌。テ

「ス、アンタに勝てないんだもん。ストレス貯まるから嫌

「違うよ、アフォだな、お前」

「アフォって言つた。じゃあこのタイミングの『アレ』って何よー。」

「結婚に決まつてんだわ」

「……」

「……どんなタイミングよ……」

「俺は一位だ」

「何がよ」

「世界お前が大好き選手権、第一位だ」

「きもつ……」

「つるせ」

「……『アレ』頂戴よね

「はあ……？ 今度はどんな『アレ』だよ」

「給料三ヶ月分の『アレ』……」

「ほれ、ティッシュ」

「……この漫画泣けるわ～。涙出てきた

「それギャグ漫画だつて」

「つるさい！」

「痛いって！ 殴るな！ この暴力女！」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7044c/>

---

「アレ」な二人

2010年11月28日14時53分発行